

災害時に臨床検査技師ができること

－CSCA の視点で考える災害対応と避難所支援－

◎酒井 隆弘¹⁾

日本赤十字社 長崎原爆病院¹⁾

近年、自然災害の頻発により、医療従事者には災害時の対応力が強く求められるようになっています。臨床検査技師も例外ではなく、平時とは異なる環境下で、限られた資源の中での検査支援や、他職種と連携した医療支援が重要な役割となります。

本講演では、災害医療に初めて触れる方にもわかりやすく、基本的な災害医療の考え方を紹介します。特に、災害時に活動する際の基本原則である CSCA（指揮系統 Command&Control、安全確保 Safety、連絡 Communication、評価 Assessment）の視点から、臨床検査技師に必要な対応力や行動のヒントを具体的にお話しします。

また、災害時には検査室の外での活動、特に避難所での健康支援や感染症対策など、専門性を活かしながら地域住民と向き合う場面も増えています。限られた時間ではありますが、災害時に臨床検査技師として「何ができるのか」「何を準備しておくべきか」を、自分ごととして考えるきっかけになることを目指します。